

水産生物育成用砂浜藻礁

企 業 / 日本データサービス（株）

研究者 / 谷野賢二（北海道東海大学工学部海洋開発工学科教授）

北海道の日本海沿岸をはじめ、日本各地でみられる“磯焼け”は水産業へ深刻なダメージを与えている。しかし、その具体的で効果的な解決策は見出されていないのが現状である。また、砂浜海岸の高度利用が漁業者より強く望まれている。本研究ではこれらの対策として、未開発地域である砂浜海岸に藻場を造成し、アワビ、ウニなど価値の高い水産生物が生息可能な空間を提供する構造体を開発する。主材料には貧栄養海域で藻類の繁茂に有効な材料である「バイオユニット（石炭灰系廃棄物を利用したコンクリート材料）」を利用する。基礎実験（水槽実験）及び現地実験により試作品を製作した。

本研究において、基本的性能について実証試験を行い、一応の成果が得られた。しかし、前述のとおり事業化へ向けては、つぎの技術的課題も残されている。

この基盤材は、長年にわたり藻類は繁茂することが各地で確認しているが、藻類を有効利用するためには、さらに、多様な生物が生息可能な空間について検討が必要である。

また、事業化へ向けては低コストで製作可能な工法等の検討が必要である。